

令和7年度

さいたま市立岩槻中学校だより

9月号 (令和7年9月1日発行)



槻の若木

〒339-0054 岩槻区仲町1-14-35

電話：048-756-0254

FAX：048-758-7483

HP：<http://iwatsuki-j.saitama-city.ed.jp>

Mall：iwatsuki-j@saitama-city.ed.jp

「岩中スローガンとことばの大切さ」

校長 金子 宜史^{たかし}

2学期がスタートしました。夏季休業中における保護者の皆様、地域の皆様の子どもたちへの見守りやご支援に深く感謝申し上げます。

毎年、暑さが増しており、2学期当初の活動も十分注意して進めていきたいと思います。

さて、この休み中、岩中生の多くの活躍がありました。吹奏楽部は、さいたま市文化センターで行われたコンクールに出場し、美しく立派な演奏を披露してくれました。美術部は、さいたま市中学校美術部展において、自分の主題や思い・願いのこもった作品を展示してくれました。力作揃いでした。今年度より科学部は、本町公民館で小学生向けの講座に講師として招かれ、その重責を立派に果たしてくれました。館長様からも感謝とお褒めの言葉をいただいております。箏曲部は、毎年恒例となっている地域の方々との交流会で参加者が楽しく演奏できる活動を行っています。岩槻中の伝統的な活動となっています。

男子バレーボール部、男子ソフトテニス部、陸上部は、さいたま市の代表として、県大会でも大いに活躍してくれました。陸上部の生徒は、県大会で優勝し、関東大会出場を果たしました。水泳では、標準記録を突破し県大会に出場した生徒や、アーティスティックスイミング世界ユース選手権の日本代表選手として、ギリシャのアテネ大会に出場した生徒もおります。また、学校の代表として、「市ストップいじめ！子どもサミット」や英語弁論大会に出場した生徒も立派な成果をあげてくれました。まだまだ、夏季大会等の活躍を伝えきれませんが、2学期も、岩中生の活躍を大いに期待しております。保護者の皆様、地域の皆様の応援もよろしくお願いいたします。

2学期の始業式で、2つのことを話しました。1つ目は、岩槻中のスローガン「できない理由を探すより、できる方法を考え、実行する」こと。時間のせいにしたり、人のせいにしたり、親のせいにして「やらない理由」自分で作り、自分をごまかしたことはないか振り返ってもらいました。岩槻中の生徒は素晴らしい生徒ばかりです。簡単にはあきらめず、実行できる強さを更に身に付けてほしいと願っております。2つ目は、作文コンクールに出品した本校生徒の2つの作品を紹介しました。1つ目は、小学校の時の体験も含めた「いじりといじめ」、2つ目は、SNSを通してつらい体験をしたが、友人の温かい一言で守られたという作品です。「いじり」と思って発した言葉が、相手や周りの人からしてみれば「いじめ」なんだということ。SNSに書き込む言葉の重み、いつまでも残り続ける刃物のような言葉、自分が発する言葉への責任。逆に、優しく温かいことば（魔法のことば）や感謝のことばの大切さ、ありがたさ。

2学期が始まるにあたり、「できない理由を探すより、できる方法を考え実行する」こと、「言葉を大切にすること」について、あらためて考えていきましょう。